

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年8月5日（水）午後7時～8時30分

会 場 亀居分館（大井中央町会）

参加者 17人



主な意見等

参加者 介護費用の増加についてです。テレビで見たのですが、公園の中に高齢者向けの運動器具を設け、結果的に医療費が削減できたそうです。病気になってからの対処より事前の予防が大事だと思いますし、ふじみ野市でもやってはどうか。ジムなどもありますが値段が高いし若い人向けなので、もっと誰でも気軽にできるように簡単な器具を設置してほしいと思います。老々介護という問題もあり、高齢者も筋力が必要なのでぜひ取り入れていただきたいと思っています。

市 長 良い意見だと思います。身近なところで軽い運動ができるのは素晴らしいことです。公園の器具と関連して、市も7月31日を安全点検の日としており、その1週間を安全点検週間としています。そこで子ども用遊具の危険性が発見され、危ないものは撤去か修繕をして、現在は撤去したものを整備している段階です。公園の運動器具については元気健康都市宣言の一環でやりたいなと思っていたところです。公園で誰かが運動している姿が周囲への啓発活動にもなると思います。

参加者 もくせい公園の花壇付近のフェンスがいまだに直っていません。担当課には特注だから3、4カ月かかるといわれていましたが、1年たってもはっきりとした返事がありません。老朽化しているため

なるべく早くやった方が良いのではないのでしょうか。担当課に確認してほしいと思います。

市長 わかりました。すぐに担当課に確認します。

参加者 合併して10年経ちますが、合併前の大井には町の花、鳥などがありました。ふじみ野市になってからなくなってしまったようですが、また制定してはどうでしょうか。

市長 合併時より花木鳥の制定は見送ってきました。賛否両論ございますが、一つの意見として受け止めます。

参加者 災害時の避難所が大井中学校になっていますが、ここから歩けば20分くらいかかります。大井総合支所も避難所になっているのかもしれませんが市民は使えるのでしょうか。

市長 いろいろなところでお話ししていますが、避難所というのは身近な場所、行き場のない方が避難するいちばん近いところですよ。ここという固定観念ではなく、あくまで位置上の目安であります。また、家にいるときや地元にいるときに被災するとは限りません。近隣のまちや大規模商業施設とも協定を結んでいるのでとにかく身を守るということを一番に考えて動いていただきたいと思います。ご指摘通り避難場所まで距離がありますし、どこでも結構ですので、まずは近いところに避難して欲しいと思います。

参加者 昔は身体障がい者の医療費を医者にかかっても窓口で払わなくて済みましたが、今はまず払って、領収書もらって、役所に書類を出してやっと振り込まれてと手間も多くて大変です。どうして変わってしまったのでしょうか。身体障がい者なのだから尚更つらくかわいそうだと思います。頼れる人がいる障がい者ばかりではありません。

市長 障がいのある方々にとってはおっしゃる通りつらい現状だと思います。

ます。制度に関しては専門的な話なのでここで断言はできませんが、後日調べて回答したいと思います。

参加者 市民憩の森と向かい側にある図書館を行き来するときに横断歩道がないため危ないと思います。すぐに作るのは難しいのかもしれませんが何とか考えていただきたいと思います。

市長 規制や安全面に関しては県の公安委員会の管轄になります。横断歩道は市町村ではできないので県の方に話しを上げて、対応してもらっています。横断歩道の間隔は距離が定められていますが、信号と信号の間が結構な距離があるので場合によっては県に設置要望をできるかもしれません。

参加者 憩の森のトイレが使いづらいという話を聞きます。小便器と大便器が一つずつあるのですが、中に仕切りがないのでお互いが丸見えになってしまうため一人入ると鍵を閉めてしまう。そうすると結局一度に片方しか使えません。

市長 元々はトイレを作る予定がなく、トイレは向かいの図書館のものを使ってもらおうという考えもありました。ただ、折角作ったものですし使いやすいものにしていかなくてはいけないと思いますので、改善要望とさせていただきます。

参加者 保育所の件です。4歳と1歳の子どもが亀久保保育所に通っています。下の1歳の子は待機児童対策として臨時に増設された枠で通っているのですが、来年は新規扱いで申請等もやり直しになると言われています。臨時とはいえこれから新規というのはおかしいと思います。新規だと継続に比べて手続きも増えるので見直してください。

市長 申し訳ないですが新規という扱いになってしまいます。既に上の子が入れているということでお宅の点数は高くなっており選考としては有利になっていると思います。亀久保保育所は閉園してしまいますが、4月にできるひまわり保育園には上のお子さんは優先的に入れる

と思いますし、下のお子さんも2歳になるということで、2歳児は定員枠が比較的多くなっています。詳しくは後で個別にお話を聞かせていただきます。

参加者 待機児童についてですが、ふじみ野市の待機児童問題は施設の数によるものでしょうか。保育士の数によるものでしょうか。

市長 施設の数によるものです。ただ、お話にもあったように保育士が全国的に不足しているという現状もあります。

参加者 資格を持っている人はいても待遇の問題で数が集まらないという面もあるかと思います。そうであるならば待遇改善によって保育士の数を増やしていけないものでしょうか。

市長 まさにおっしゃる通りで、地域間の取り合いになっています。ふじみ野市としても、来年4月の新規開園に向けてなんとか確保していかなくてはならないと考えています。近隣の市町村でもここまで新規開園しているところはないので待遇アップ等で更なる差別化を図っていきたいと思っています。

また、潜在的な保育士がいます。資格を有していても年齢やブランクに不安がある人へ支援をして復帰を促すのも大事なことです。勤務時間などを柔軟にして、働きやすい環境を作ることで保育士を確保していきたいと考えています。

参加者 保養所についてですが、後期高齢者に対して以前ほど補助がなくなってしまったようです。なぜなのでしょう。財政的な問題でしょうか。

市長 保養所についてはおっしゃる通り財政的な問題です。例えば国民健康保険は税収入だけでは運営が難しくなっています。後期高齢者は一足先に県単位になってきていますが、徴収は市町村単位のままです。今後も厳しい運営が予想されます。

参加者 ヤマハの跡地に関して、付近の道路は広くなったようですがいつまで経っても舗装されません。また、跡地の管理が行き届いていなく、今後どうなるのかわかりません。

市長 ヤマハの土地は元々民間の所有地です。市としては以前から企業誘致を進めていますが、県からは新たに誘致するのではなく、まずは本来企業があったところを使ってくれと言われてしまいます。ですからあそこには何らかの企業が来てほしかったのですが、こればかりは売り手と買い手の事情もあり難しいようで、どうも住宅開発になりそうだという情報が入ってきています。買った道路については順次整備をしていきます。ただ財政の問題もあり、まずは緊急性があるところが優先になってしまいます。

参加者 20年近くボロボロの空き家があります。持ち主の行方はわかっているようですが連絡が取れないと聞いています。制度が変わったという話も聞きますが現在どうなったのでしょうか。

市長 所有者自身が年を取ってくると手入れも難しくなりますが、シルバー人材センターにそれを委託するサービスを作るなど、ふじみ野市は他市町村に比べても対応策を講じてきました。また、国の特別措置法が施行されたことにより悪質な放置は固定資産税の面でかえって不利になるように変更されました。少数の担当職員が全部の空き家を見て回るのも難しいのが現状です。市民の方の声が重要ですので近所にそういうところがあれば私どもに教えていただければと思います。

参加者 市役所の窓口に行くと、担当者が「少々お待ちください」ばかりですぐ後ろに下がってしまいます。わかる人を前に立たせるのが行政サービスとしても望ましいのではないのでしょうか。派遣の人もあるみたいですが、そちらもすぐに確認しに後ろに下がってしまいます。

市長 市役所は民間同様異動が多く、部の中でもいろいろな部署に異動することでオールマイティな人材にしたいという意向もあり、異動

当初はどうしても不慣れな面が出てきてしまいます。対応したのが新人という場合もあれば、対応の得手不得手や知識の差もあります。見苦しい点もありますがそういった経験を経てできるようになるので温かく見守っていただければと思います。

また、派遣は知識量で言えば市の職員以上の人もいます。ただ、それをどこまで答えていいのかという判断は自分ではできないため、上司に指示を仰ぎに戻るケースはあると思います。窓口でご迷惑をおかけした点についてはおわびしたいと思います。私は市役所では民間以上のサービスを目指しています。今日いただいた話も担当課に持ち帰り改善を続けていきたいと思っています。